

会 議 録

- 議事内容 2022年度 3月定例教育委員会
- 日 時 令和5年3月2日(木) 13:30～15:45
- 場 所 4階会議室4-1
- 出席者 教 育 長 橋本 浩明
教 育 委 員 河嶋栄里子・藤本真理・養父雄一
学 術 政 策 員 陰山 茂
事 務 局 入江教育管理部長・藤原教育指導部長
近澤教育総務課長・松田いきいき社会創造課長
井上スポーツ振興課長・教育総務課 澤谷

■ [会議の内容]

1 開会あいさつ

・教 育 長

2 前回議事録確認

・全委員一致で承認

3 議案

・議案第1号 小野市学校医、学校薬剤師の委嘱について(スポーツ振興課)
辞任に伴い欠員が出る小野市学校医、学校薬剤師について、後任を新たに委嘱したいため、別紙のとおり承認を求める。

■ 【教育委員からの照会及び意見】

Q:学校医は、年度初めの健康診断を行い、そこで何か異常があれば保護者の方が病院を受診するという流れをつくるということで相違ないか。また、それ以外にどういった役割があるのか。(教育委員)

A:その通り、内科検診によって異常があった場合、関係者に繋いでいくという役目がある。それから、インフルエンザ等が流行した場合に、学級閉鎖をするかどうか助言を仰いだり、感染症等の病気に対して相談したり助言をいただいている。(事務局)

Q:学校薬剤師にはどのような職務があるのか。(教育委員)

A:プールの水質検査等の定期的な検査をおこなっている。それから、照度や二酸化炭素濃度といった校内の衛生状態や環境状態について、様々な観点から助言をいただいている。(事務局)

・議案第2号 小野市文化財保護委員の委嘱について(いきいき社会創造課)
小野市文化財保護委員の任期満了により、委員を新たに委嘱する必要がある

るため、別紙のとおり承認を求める。

■【教育委員からの照会及び意見】

Q:委員になりたいと自分で希望されるのか、それとも適任と思われる方に声をかけているのか、どのような委嘱の仕方になっているのか。(教育委員)

A:自薦という方法もあるが、歴史文化の造詣が深いことが前提条件となるため、今までの経歴や活動を検討のうえ判断することになる。(事務局)

Q:年に何回委員会を開催しているのか。(教育委員)

A:文化財保護委員会を年2回開催しており、委員の意見を伺いながら、文化財施策の方針を決める。また、市指定文化財の認定や現在作成している文化財保存活用地域計画について、ご意見をいただいている。(事務局)

(議案第1号から第2号まで全議案の承認を得る。)

4 協議事項

☆今月の議論のテーマ:「令和4年度事業評価」について

- ・各課長が資料により説明を行う
- ・各教育委員からの疑問点の質疑及び議論を展開

■【学校教育課】

(緊急) 新型コロナウイルス感染症対応

「学校における学びを止めない」という基本方針のもと、感染状況を見ながら、可能な限り通常の教育活動が維持できるよう、児童生徒及び保護者・教職員・学校関係者が一体となって取り組み、修学旅行等、教育活動をおおむね実施できた。アフターコロナ、with コロナでの学校運営の研究を進めていく。

夢と希望の教育の推進

川島隆太教授講演会を継続実施するとともに、夢と希望の教育の推進にかかる事業が、コロナから回復・実施できた。今後は、脳科学の知見を取り入れた教育、「新たな幼稚園」、サイエンス祭、研究・実践等をwith コロナで充実していき、特にスマートフォン等とのかかわり方、読書活動のすすめについて、重点的に取り組む。

GIGAスクールプロジェクトの推進

2年目の研究推進により、児童生徒が授業で端末を「当たり前」に活用でき、情報活用能力を高める実践が積み上げられている。収集した授業実践提案シートをもとに、「脳を働かせるしかけ」を意識し、思考力を高める実践研究を一層進めて

いく。

情報共有システムの活用

校務支援システムの構築から6年目となり、情報共有シートの活用が安定してきている。増加傾向にある不登校支援をはじめ、新型コロナウイルス感染症の影響も含め、児童生徒の心身の状況を十分に把握し、事前対応、早期発見、早期対応ができるようにし、児童生徒の学びを支援する。また、児童虐待等の家庭の状況の変化、個別の支援が必要な児童への対応を一層丁寧に行う。

■【教育委員からの照会及び意見】

Q:中学校の制服が新しくなることについて、とても新しい取り組みだと思うので、どこかに記述を入れてはどうか。(教育委員)

A:基本的には、制服を制定するのは学校であり、主がそちらにあるので、教育委員会が実施した事業という形にはならないと考える。(事務局)

Q:GIGAスクールプロジェクトの推進について、教員間でのパソコン関係の知識の差は、あまり大差ないようになっているのか。(教育委員)

A:やはりある程度の差はあるとは思われるが、小野市においては先生方がお互いに教えあったり研修を行ったりしているので、全体に使える方へ向上しているような状態である。コンピューターに長けた人もいれば苦手な人もいるが、そういった得意不得意の領域ぐらまでの差には収まっているのではないかと考える。(事務局)

Q:下東条小学校に行ったときに、パソコンをノート代わりのように使うなど、あることが当たり前ようになっており、有無にとらわれず自然な感じで授業を進められていて、その技術が素晴らしいと思った。学校ごとの差があまり大きくなく、全体的に良い方に向かっていってもらいたい。(教育委員)

A:クロームブックが導入されてから2年経ち、最初の頃は物珍しかったので子どもたちも気になって授業をしていた状態から、あることが「当たり前」という状態にまではいつているのではないかと感じる。学校ごとの差は大きくはないと思うが、皆が使える方向へ進んでいき、市内全体が同じようなレベルになるようにしていきたい。先生方同士の教えあいもあるが、場合によっては6年生が1年生に教えに行くこともあり、そのような場面で1年生の担任の先生が学ぶこともあるなど、複合的な研修によってスキルアップができていないかと考えている。(事務局)

Q:来年度から子育てに関する新しい組織ができるということなので、情報共有システムの活用の中に、そういった新しい市の組織についての記載があっても良

いのではないか。(教育委員)

A:こども家庭庁ができる関係で「こどもサポートセンター」という、ワンストップで連携するような組織を福祉が中心となって作っている。そこと教育委員会が連携することは大事だと考えるので、来年度新設される「こどもサポートセンター」と十分に連携を図ること、といった形で記載する。(事務局)

■〔教育総務課〕

学校施設長寿命化対策事業

小野南中学校体育館Ⅱ期工事を実施し、予定通り5月末に完成を迎えることができた。この体育館長寿命化工事の完成により、令和元年度から着手した小野南中学校長寿命化改良事業は無事終了した。また、小野南中学校に引き続き、旭丘中学校においても、令和5年度からの長寿命化改良工事に向け基本実施設計に着手し完了した。旭丘中学校についても、安全施工を徹底し、適正な施工に努めていく。

学校施設整備事業

トイレ洋式化工事において、本年度は、来住小学校、市場小学校、中番小学校、小野特別支援学校で実施し、市内学校・園のトイレ洋式化率は88%となった。問題なく順調に進捗し、計画通りトイレ洋式化を完了させることができた。

また、小野東小学校の運動場法面防草シート敷設工事、中番小学校の校舎鳥よけ設置工事、小野中学校の理科室実験台取替工事等、学校環境改善のための整備を実施した。引き続き、園児・児童・生徒が安全安心に学校・園生活を送れるよう、迅速・適切に施設の修繕を進めていく。

新型コロナウイルス対策

新型コロナウイルス感染症の感染拡大が繰り返され、コロナ禍における学校生活も長期化する中、国の補助制度「学校等における感染症対策等支援事業」を活用し、感染対策のための消毒液等の消耗品の購入や、学習保障のための備品等の購入を行い、切れ目のない教育が継続できるよう取り組んだ。引き続き、感染拡大の終息が見通せない状況であることから、子どもたちの教育に極力影響が出ないように、徹底した感染症対策を講じていく。

新幼稚園整備事業

令和7年度9月新幼稚園舎完成を目指し、令和4年度は耐震診断を完了させ、基本設計も順調に進んでいることから、適切に事業を進捗させている。長期にわたる事業となるが、事業期間中における園児、教職員等へ及ぶ影響の軽減を図り、事業の円滑な実施に努める。

■【教育委員からの照会及び意見】

Q:学校施設整備事業について、ウクライナの情勢やコロナの関係で部品等が不足している状況にも関わらず、工事が予定通り完了したことは評価できる。(教育委員)

A:本来であれば、工期の延長や金額の変更といったことも出てくるような状況だったと思うが、そこは業者もよくやっていただき、感謝している。(事務局)

■【いきいき社会創造課】

小野市文化財保存活用地域計画作成事業

令和4年度は、有識者や市内関係団体の代表、庁内の関係部署からなる協議会を開催し、地域計画素案の検討を行った。また、文化庁と作成方針、素案検討結果について協議した。更に、小野地区の宗教法人名簿記載の神社の悉皆調査を実施した。令和5年度は、地域計画の完成と、市民への文化財の更なる周知と理解を深める。

図書館ICタグシステム導入事業

業務効率化を進め、人的接触を減らし、カウンターの混雑を緩和するため図書ICタグによる自動貸出システムを導入し、ウィズコロナ時代を見据えた安全・安心な図書館サービスを提供した。また、出入口にセキュリティゲートを設置することにより、課題であった「資料の不正持ち出し」を防止できた。今後は、自動貸出返却システムのさらなる利用率向上に努める。

■【教育委員からの照会及び意見】

Q:図書館ICタグシステム導入事業のところで、現状及び方針に図書館サービスに関する記載があるが、評価・課題のところにサービスの向上に繋がるような内容があったほうが良いのではないか。効率化だけでなく、テーマ別の本を集めたり読み聞かせなど、図書館を利用してもらうための様々な取り組みをしていると思うが、それを充実させるというようなサービス向上の面についても記載してはどうか。(教育委員)

A:承知しました。(事務局)

■【スポーツ振興課】

「ひまわりカード」活用による朝食摂取調査

「ひまわりカード」を用いたバランスの良い朝食摂取状況調査は、小野市学校食育推進委員会として、平成21年度から実施している。「5日間連続朝食摂取」については、第2回の全体平均が95.0%であり、かなり浸透しているが、「バランスの良い朝食摂取」となると、全体平均が66.9%にとどまっている。特に中学生の摂取率が62.9%と低く、継続課題となっている。今後は、脳科学に基づ

く食育効果をさらに発信し、摂取率向上のための取組にさらに工夫を加えて推進していく。

小野ハーフマラソン開催事業

第9回大会は、会場レイアウトをコンパクトにし、ランナー目線に立ったスタイルを構築して開催した。また、万全の感染対策で、ランナー、ボランティア、市民、スタッフが安心して参加できる大会運営を行った。大会終了後のボランティアスタッフや参加者の声を、可能な限り反映させるとともに、さらに安全で魅力的な大会とするために、新たな企画・立案に取り組む。また、ランナーへの安全対策を充実させるとともに、コース周辺住民の不便を最小限に抑える交通規制の実施を目指す。

ハートフルウォーキング事業

ウィズコロナ・アフターコロナ社会に対応したウォーキングイベントとするために、令和元年度以前は年間8回実施していたところを年間3回に精選し、3年ぶりの通常開催を行った。募集チラシでの申し込みに加え、市HP上でのネット申込も導入し、各ウォーキングイベントのコースや特色、魅力等を紹介・情報発信した。

今後は、開催を終えての改善点を踏まえ、ウォーキング事業を委託している「歩人会」が主導の開催を目指す。また、地域づくり協議会、神鉄観光、観光協会との連携を強化し、市民参画を得ながら、地域の魅力を再発信するとともに、ウィズコロナ・アフターコロナ社会に対応した運営を目指す。

■【教育委員からの照会及び意見】

Q:不登校の問題と食事は繋がっていると思っていて、食べ物で体調等が改善されて学校に来ることができるようになる子どももいるのではないかと考える。そういった食事の大切さを、脳科学理論を念頭に、ひまわりカードでもっと押し出していけばいいのではないか。こういった食事が良いといった紹介など子どもたちも家族も関心を持てるような取り組みをして、ひまわりカードにより目が行くようになれば良いと考える。また、バランスの良い食事を家族で考えてもらうなど、子どもたちが主動となることで、より広く皆が関心を持つのではないか。(教育委員)

Q:前回石原委員からひまわりカードについて、PRになるように、視覚に訴えるような形にしてはどうかという意見があったが、それも課題に記載するべきではないか。(事務局)

A:食育だけではなく睡眠時間など、生活リズムは誰にとっても大切なので、給食と繋げたり、家庭科の学習や保健学習とも繋げて派生させていきながら、子どもたちが自ら生活リズムを考えられるようにしていきたい。(事務局)

☆今月の議論のテーマ：「令和5年度協議事項」について

・各教育委員から次年度に協議すべき項目について意見を聞く

■【教育委員からの意見】

- ・不登校が増えてきているので、適応教室の在り方や、フリースクールが多くなってきていると思うが、そういったところとの連携や関わり方について、教育委員会の方向性等を話し合いたい。(教育委員)
- ・外国にルーツをもつ子どもたちが増えてきているので、現状と他市の取り組みや今後の支援の仕方について話し合いたい。(教育委員)
- ・教育委員として学校訪問をしているが、それぞれ見方が違って良いと思っており、様々な気づきがあることで学校がより良いものになっていくと思う。それぞれどういったところを見ているか、また、学校側がみてほしいところについて日頃の感想も含めて話し合いたい。(教育委員)
- ・不登校のことが気になっている。学校生活が全てではなく合わない子もいると思うが、もう一歩で学校に来ることができる子がいるのなら、学校で楽しい時間を過ごしてほしいと思う。フリースクールや学校の在り方といったことも興味深く思っている。(教育委員)
- ・小野市は「16か年教育」で子育てをしているが、小さい子を育てている保護者が孤立しないように、早い段階からいろいろ話せる場所をつくるなど対策が必要だと考える。就学前の子育てのことも、そこから将来へつながっていくということも興味深く思っている。(教育委員)
- ・部活動については以前も議論したが、今後のことについてやはり考えていく必要があると思う。(教育委員)
- ・生涯学習としてのスポーツや芸術などについて、ここではスポーツ振興課といきいき社会創造課のことをお聞きすることは多いが、その他の公民館（コミセン）の活動なども含めて、小野市の現状を知っておくことが大切だと考える。また、課題があれば、それを打ち壊すような施策や施設が必要ではないかと思う。(教育委員)
- ・PTAのあり方、コミュニティスクールに関する項目も加え、来年度はこれらを中心に議論していきましょう。(教育長)

5 報告事項

- ・令和4年度主要事業の進捗状況の説明及び教育委員からの意見聴取

■〔学校教育課関連〕

①第Ⅲ期教育振興計画の具現化【教育課程管理】

(進捗状況)

- ・GIGAスクールプロジェクトについては、2年目の実践記録集を現在作成している。
- ・小学校2年生を対象に、2回目の「ひらがな聴写テスト」を実施する。現在、市内で大体160名ほど読み書きに関して困っている子どもがおり、その半分くらいにルビうちや書き方の指導等の個別対応を行っているような状態。また、場合によっては端末を利用して指導をしている子どもが数名いる。引き続き、読み書きだけではなく、様々な困りごとがある子どもたちについて、支援を行っていく。

②学校組織マネジメントの強化とリスクマネジメント【危機管理】

(進捗状況)

- ・『報・連・相』及び『4号報告(いじめ・問題行動等)』で報告
- ・新入学にかかる就学援助事務の開始
- ・新型コロナウイルス・インフルエンザへの対応(学級閉鎖等)卒業式等の実施方法について
- ・DV・虐待対応

③人材育成と働き方改革【人的管理】

(進捗管理)

- ・令和4年度末の人事に着手し、ヒアリングをおこなっている。

④学校教育課情報

1 市の取組予定

3月6日 校長会

◆到達度テスト 市分析をフィードバック

3月23日 市教職員 異動内示

3月30日 小野市教職員感謝状贈呈式

※7か月児(月1回)・未来のパパママ教室(隔月1回) 最終

いきいき子育て教室(各園) 最終・・・3月4日 亀鶴保育所

2 学校の取組

○3月1日 小野南中校区 小中一貫教育研修会

○3月6日 校長会

- 3月16日 中学校卒業式
- 3月17日 特別支援学校卒業式
- 3月23日 小学校卒業式
- 3月24日 小・中・特別支援学校 修了式

※卒業式のマスクについて

- ・児童生徒及び教職員は、国歌・効果等の斉唱・合唱、「よびかけ」以外のマスク着用は不要とする。
- ・基本的な考え方としては、国及び県の方針に基づき、各学校の実態を考慮して実施する。

◆到達度テスト分析・フィードバック

◆小野市型GIGAスクールプロジェクトの実践事例集のまとめ

2月現在 132事例

3 新年度の予定

- 4月 3日 小野市教職員辞令交付式
- 4月 7日 小・中・特別支援学校 始業式
中学校・特別支援学校 入学式
- 4月10日 小学校 入学式
- 4月11日 幼稚園 入学式
- 4月15日 小野中・小野南中・旭丘中 学習参観（PTA総会）
- 4月18日 全国学力・学習状況調査
- 4月22日 河合小・中 学習参観（PTA総会）
- 4月29日 小学校（河合小を除く） 学習参観（PTA総会）

4 学校の状況等

- ・いじめ・不登校等については現在集計中。急増しているというような状況はないが、不登校はやはり増加傾向にある。問題行動・いじめについては、かなり静かな状態が続いていると認識している。

5 令和4年度到達度テスト結果の概要報告

○実施日：小学校 令和4年12月13日、14日

中学校 令和3年12月13日

○受験対象：小学校3年～6年（国・社・算・理）

中学校7年・8年（国・社・数・理・英）

- ・全体の結果として、おおむね良好であり、全国平均と比べても同程度かやや良い状態にあった。また、上の学年ほど全国に比べて良好な状況になっている。基礎学力の定着、おの検定の取組、小中一貫教育による定期テスト、計

画性を重視した学習習慣や学び合いの授業の成果として考えられる。

- ・「書くこと」などいくつか課題が見られた。端末が入ったことによって、書くことが活動的に抑えられている部分があり、また、説明したり話し合ったりすることもコロナで少し抑えられていた部分があるので、来年度はそのあたりを重点的に取り組んでいく。

■【説明事項に対する教育委員からの照会及び意見】

Q：不登校の子どもの中には卒業式出ることができないという子もいると思うが、その場合、卒業証書はどう渡すのか。（教育委員）

A：放課後等に登校できる場合は、校長室や他の場所で授与している事例が多い。それもかなわない場合は、自宅まで届けるか、もしくは保護者が取りに来られるような形になっている。学校としては可能な限り直接渡したという思いは変わらないので、適応教室に行っている子どもたちも在籍校で貰えるように取り組んでいる。個々によって違いがあるので、様々な事情で市外へ出てしまった子どもたちに対しても渡せるような方策を探る等、可能な限りの対応をしているような状態である。（事務局）

Q：現在、適応教室がいっぱいだと聞いているが、どのような状態なのか。（教育委員）

A：現在17名在籍しており、多少まだ参加の希望もあるような状態である。適応教室の指導員については、令和5年度は1名増員する予定にしている。机椅子など備品関係も少し不足が見込まれるので、いくつか購入して対応していく。体制を整えながら適応教室の充実に取り組んでいきたい。（事務局）

Q：地域によっては適応教室が遠く、保護者が送迎できないとなるとハードルが高くなってしまうのではないかと思うが、適応教室を増やすといった話は出てはいないのか。（教育委員）

A：今のところは出ていない。全国的には、特例校といった学校を別に建てて対応している所も出てきており、そういった対応をする必要があるのか、あるいは適応教室を市内で2か所置くほうが良いのか、そのあたりを今後議論する必要がある。小野市の先生方は学校の中での別室登校や放課後登校というのはかなり丁寧に対応できているので、今の形をとりながら、人数が増えたときに人的な対応をどうしていくのかという所が今後の課題になっていく。一方で、場所が離れていることのメリットもあるのでそれも見つつ、適切な場所についても考えながら、今後の設置について検討していく必要がある。また、今後の議論になるが、フリースクール等とどう関わっていくのかについてもこれから考えなければならない。子どもたちを大事にししながら不登校を増やさない方向で、どちらかという学校に行ってほしいというスタンスは維持していきたいと

考える。オンラインについても同じような考え方をもっておきたい。オンデマンドなど、登校した形にするというような在り方も出てきているが、それらについても子どもたちとよく考えて、保護者も含めて何が良いのか検討していく。
(事務局)

Q:到達度テストの結果のまとめについては、学校ごとに分析したものを先生方が把握し、保護者にも通知されるのか。(教育委員)

A:その通り。保護者向けには、一部分を抜粋してもう少しわかりやすくしたものを、学校だより等で返していく形になる。(事務局)

Q:他の学校の情報も先生方は把握されるのか。(教育委員)

A:校長先生を介して推進委員会のメンバーは他校の状況を把握すると思う。まずは自分の学校の実態に向き合うことが大事なので、そこが中心になるのではないかと考える。学校長には市全体の分析結果も返しているので、全体のバランスも知った上で今後どうするかという議論になっていくと思われる。(事務局)

Q:学校に不審なメッセージが来ていたということで気になっている。(教育委員)

Q:昨日、埼玉県で17歳の子が中学校に侵入したという事件があり、その時も近隣の小中学校に爆破するというような不審なメッセージが入ったそうだが、何かそういったことと関連があったのか。(教育委員)

A:県立学校関係で事案があったようで、県の教育委員会が注意喚起を行った。今回の事件に関しては不審なメッセージは特に入っていない。(事務局)

A:そういった不審なメッセージは来るが、市民安全部と小野市はいじめも含め情報共有システムがあるので、現役の県警警視である市民安全部長と情報共有しながら対応している。校門と玄関には防犯カメラを設置し、県警ホットラインというすぐに県警に繋がるようなシステムもあり、また、各学校とも不審者侵入マニュアルを作って対応している。(事務局)

Q:こういった不審なメッセージが学校に届いた場合、すぐに教育委員会に連絡があるのか。(教育委員)

A:すぐに連絡が入り、市民安全部と共有した上で、小野警察の生活安全課に行った。生活安全係が学校に事実確認を行い、警戒に回った。青パトも警戒に回った形である。(事務局)

■〔教育総務課関連〕

①新幼稚園整備事業

(進捗状況)

- ・基本設計に取り掛かっており、進捗率は2月末で40%。

- ・ 検討会を行い、建築工事の中に含まれる造作家具について、設計業者からどこに取り付けるかといった案の提供を受け、園と共に意見交換を行った。
(今後の予定)
- ・ 4月25日に検討会を行う予定。引き続き家具についての打合せと、駐車場についての検討を予定している。

②学校施設長寿命化対策事業（旭丘中学校）

(進捗状況)

- ・ 旭丘中学校の校舎について、長寿命化の設計を行っており、現在の進捗率は90%。残りの10%については、積算業務と図面が残っているという状況。
- ・ 旭丘中学校の仮設校舎賃貸借契約について、2月27日に入札を行い、大和リース㈱神戸支店が2億4420万円で落札した。契約期間は仮設校舎が存在している間になるので、令和7年3月15日までとなる。

③学校トイレ洋式化事業

(進捗状況)

- ・ 来住小学校・中番小学校・市場小学校・小野特別支援学校の4校について、トイレの洋式化工事が予定通り終了した。

④教育総務課情報

1 感染症対策等の学校教育活動継続支援事業

○90万円×6校（児童生徒数300人以下）

河合小、来住小、中番小、下東条小、河合中、小野南中

○135万円×3校（同301人～500人）

市場小、大部小、旭丘中

○180万円×3校（同501人以上）

小野小、小野東小、小野中

○360万円

特別支援学校

○50万円×2園

幼稚園

計 1,945万円

<執行状況> (追加配分1,190,000円 R5.1.16)

学校	配分額(円)	執行済額(円) (R4.2月末)	執行率 (%)
小野小学校	1,800,000	1,800,000	100.0

小野東小学校	<u>2,080,000</u>	1,972,919	94.9
河合小学校	<u>1,040,000</u>	595,758	57.3
来住小学校	900,000	899,757	99.9
市場小学校	<u>1,560,000</u>	1,196,342	76.7
大部小学校	1,350,000	1,218,013	90.2
中番小学校	<u>1,040,000</u>	999,358	96.1
下東条小学校	<u>1,040,000</u>	964,138	92.7
小野中学校	1,800,000	1,619,639	90.0
河合中学校	<u>1,040,000</u>	777,174	74.7
小野南中学校	<u>1,040,000</u>	747,522	71.9
旭丘中学校	1,350,000	1,350,000	100.0
小野特別支援学校	3,600,000	2,884,964	80.1
わか松幼稚園	500,000	500,000	100.0
小野東幼稚園	500,000	500,000	100.5
合計	20,640,000	18,025,584	87.3

※主な購入品目

- ・パーテーション ・テント ・ペダル式ゴミ箱 ・スピーカー ・衝立
- ・拡声器 ・著作権使用料 ・分散授業用教材 ・ハンドソープ
- ・アルコールディスペンサ ・アルコール消毒液 ・ビニール手袋 ・自動水栓
- ・網戸 ・ワイヤレスマイク ・分散授業用机椅子 ・書画カメラ
- ・ディスプレイ ・次亜塩素酸水 ・マット ・マグネットスクリーン
- ・体温計 ・ディスプレイスタンド ・ミニキーボード ・サーキュレーター
- ・プロジェクター ・サーマルカメラ ・CO2 測定器 ・抗原検査キット
- ・デジタル身長体重計 ・加湿器 ・オーディオメータ ・両面発表ボード
- ・空気清浄機

■【説明事項に対する教育委員からの照会及び意見】

Q:旭丘中学校の仮設校舎は4月から利用することになるのか。(教育委員)

A:仮設校舎は8月半ばくらいに完成する予定である。夏休みを利用して現在の校舎から仮設校舎へ引越しを行い、2学期から仮設校舎で授業をする。そこから本格的に校舎の長寿命化改修工事に入っていく。(事務局)

Q:教室の電気について、大部小学校の評議委員会で、学校訪問をした際に教室が暗かったが子どもたちの目に悪影響はないのかという指摘があった。ディスプレイの画面を見るときはカーテンを閉めるのでどうしても教室が暗くなってしまうということと、教室の電気がLEDではないので暗いと感じるのではな

いか。(教育委員)

A:現在はLEDが普及し一般的になっているので、余計に蛍光灯が暗く感じられるということもあると思う。LED化事業については以前から考えているが、予算化となると優先順位の関係からトイレの様式化や学校長寿命化が先になってしまい、なかなか取り掛かれていないというのが現状である。(事務局)

Q:教室が暗いということだが照度不足なのか。照度に関する調査は定期的に行っていないのか。(教育長)

A:学校環境衛生検査の中に照度に関する項目があり、定期的に点検を行っている。(事務局)

A:検査が入っていて、そこで何の指摘もないということであれば照度的には問題ないと考えられる。(事務局)

A:検査について再度確認を行い、回答してください。(教育長)

■ [いきいき社会創造課関連]

①小野市文化財保存活用地域計画策定事業

(進捗状況)

・文化財保存活用地域計画素案が完成し、現在、文化庁と協議を行っている。

(今後の予定)

・小野地区の建造物悉皆調査を行っている。今後、他の地区についても悉皆調査を行う。

・4月28日に第5回地域計画協議会を開催予定。

②図書館事業（ICタグシステム導入事業、トイレ洋式化改修工事、高圧受電機器取替工事）

(進捗状況)

・図書館の自動貸出機利用状況について、1月の利用人数は4245人で、半分以上の方が自動貸出機を使用している。1月4日から供用開始したが、日に日に操作方法を理解されている利用者も増えている。

③いきいき社会創造課情報

1 事業報告

○リサイクルブックフェア

図書館で役割を終えた図書や保存期限を過ぎた雑誌、家庭で不要になった寄贈本などを利用者に無料で提供する。

期 間：2月1日（水）～2月15日（水）

○雑誌の付録プレゼント（抽選・50名限定）

応募期間中に資料20点借りられた方にカウンターで応募券を渡す。

応募期間：2月14日（火）～2月27日（月）

抽選日：3月1日（水）

○SDGs展示

SDGs（Sustainable Development Goals（持続可能な開発目標））に関する本を展示。

期間：2月1日（水）～2月27日（月）

○企画展「ザ・昭和の暮らし②レトログッズ大集合」

会期：開催中～令和5年5月21日（日）まで

内容：懐かしい生活道具や当時流行った娯楽・趣味、服装などの資料149点を展示、多方面から昭和時代を振り返る。

会場：好古館2階展示室

○企画展「第12回 ビッグひなまつり」

会期：開催中～令和5年3月5日

内容：館蔵や市内に残るひな人形を一堂に展示
また、今年は旧小野藩主一柳家に伝わる明治時代のひな人形と道具を初めて展示。

会場：好古館玄関ホール、常設展示室2、和室・研修室ほか

○小野藩陣屋町に春を呼ぶ「ひなめぐり」

期間：開催中～令和5年3月5日

内容：小野商店街の25店舗にひな人形を展示し、歴史ある小野藩陣屋町の風情を楽しんでいただく。

会場：好古館、小野商店街、伝統産業会館、コミセンおの

○第2回文化財保護委員会

日時：令和5年2月21日（火）13：30～15：00

参加者：文化財保護委員10人、好古館職員

内容：令和4年度好古館及び文化財保護事業報告について
文化財保存活用地域計画の意見聴取

○シニア向けスマホ教室（コミセンおおべ主催 短期講座）

目的：デジタルデバイドの解消のため、シニアを対象に身近な情報

端末であるスマートフォンの操作方法を学ぶ機会を提供する。

日 時：令和5年2月7日（水）10：30～12：00（基本編）
13：30～15：00（活用編）

場 所：コミセンおおべ

参加者：22人（基本編10人、活用編12人）※60歳以上の市民

○但馬からの雪の贈り物プロジェクト（大部地区地域づくり協議会）

内 容：但馬（神鍋高原）の雪を大部地区の小学校、認定こども園・
保育所の子どもたちに贈る。

日 時：令和5年2月13日（月）11：00～

場 所：小野ひまわり保育所、白百合子ども園、北辰こども園、
大部小学校 計4カ所で同時実施

対 象 者：小野ひまわり保育所、白百合子ども園、北辰こども園、
大部小学校の全園児・児童 参加総数 約600人

○おおべ未来塾「マレーシアってどんな国？」大部地区地域づくり協議会

目 的：異文化交流を通じた多文化共生の推進

日 時：令和5年2月19日（日）13：30～15：00

講 師 等：マレーシアからの留学生（協力：小野市国際交流協会）

内 容：マレーシアの言語や衣食住などの文化について、留学生（明石
高専）を講師として招致し、交流を通じて異文化を学んだ。

2 今後の予定

○貸出回数「0」の本展示

2021年から2022年にかけて購入した本のうち、貸出が0回の本を
集めて展示

期 間：3月1日（水）～3月31日（金）

○自殺対策強化月間展示

自殺対策強化月間に合わせ、「いのちとこころをまもる」をテーマに、関連
本を展示

期 間：3月1日（水）～3月31日（金）

○第18回「小野陣屋まつり」（小野地区地域づくり協議会）

日 時：令和5年3月5日（日）10：00～16：00

場 所：小野商店街（メイン会場：愛宕神社境内の特設舞台）

目 的：小野藩陣屋町の歴史を情報発信しながら、地域住民の交流と
地域の賑いづくりを図る。

- 内 容：小野藩大名行列、甲冑着付け体験
 夢いっぱい舞台（園児やサークルによる芸能発表 11 団体出演）
 プロジェクト J ダンス披露（協議会テーマソングによる踊り）
 キッチンカーめぐり 他 ※4年ぶりの開催

○シニア向けスマホ教室（コミセン短期講座）

目 的：デジタルデバイドの解消のため、シニアを対象に身近な情報端末であるスマートフォンの操作方法を学ぶ機会を提供する。

対 象：市内在住の60歳以上の方

日 程 等：

主催	日時（場所）	定員	講座内容
コミセン おの	令和5年3月24日（金） 13：30～15：30 （コミセンおの）	15人	スマホの基本操作 と活用方法
コミセン 下東条	令和5年3月31日（金） 13：30～15：30 （コミセン下東条）	18人	同上

3 小野市子ども会連絡協議会活動について

- ・来年度以降の小野市子ども会連絡協議会（以下、「市子連」）活動において、来住地区と市場地区の子ども会から市子連を脱退したいという申し出があった。来住地区、市場地区ともに子どもの数が少なく、町の子ども会組織が成り立たない。また、役員の成り手がいないため、地区活動ができないため、市子連から脱退したいという思いである。平成28年には河合地区の子ども会が同じような理由で脱退している。各町の子ども会に加入している会員数は、年々、右肩下がりになっているのが現状である。

■【説明事項に対する教育委員からの照会及び意見】

Q：青少年健全育成会の会議の時に、来住地区子ども会の状況を聞いた。

近くに住みながら私自身も知らなかった。（教育委員）

A：来住地区の子ども会の役員の方とお話をしたが、役員の成り手も子ども少なく、活動を継続するのが難しいということであった。これで、市内7地区の内、河合・来住・市場地区が休会し、残っているのは小野・小野東・下東条・大部地区だけとなる。今後、他地区の活動も危惧されるため、今までと同じ考えで活動を進めると市子連組織そのものが崩壊することも想定される。そうならないためにも、市子連活動を抜本的に改革する。（「役員の負担軽減」「事業のスリム

化（こどものためになる事業に絞る）」。(事務局)

Q:子ども会に加入してない子どももいるのか。(教育委員)

A:子ども会への加入は任意なので、入っていないお子様もいます。地域によっては、受け皿となる組織がなく、入りたくても入れない子どももいるかもしれない。(事務局)

Q:子ども会に入る場合はお金がかかるのか。(教育委員)

A:会費に関してはそれぞれ各町で判断されている。町の自治会から支援して活動されているところもあれば、会費のみで活動されている組織もあると考える。(事務局)

Q:現在は1969名が加入されているが、子ども会の対象となる子どもたちは全員で何人になるのか。(教育委員)

A:メインの対象年齢は小学生だが、町によっては中学生が加入している町もある。概数であるが、1学年約500人とした場合、小中学生(9年間分)で4500人となる。(事務局)

Q:教育委員会は市子連にどの程度関わっているのか。(教育委員)

A:教育委員会に市子連事務局があり、事務局活動を行っている。(事務局)

Q:P T Aに関する縮小化等があるが、教育委員会で何か議論はできないのか。それともP T Aについては学校単位に任せており、入ることができないのか。(教育委員)

A:P T Aは学校単位の組織であって、教育委員会とは別の組織になるので、基本的にP T Aに教育委員会が入ることはできない。例えば校長先生からP T Aに関して相談があった時には、学校に行き指導・助言といったことはするが、行政の組織が入ってほしいと指示するのは問題だと考える。もともとは自主的な成り立ちの組織であり、連合P T Aに関する全国的な問題として、都道府県の連合会から脱退するというような報告があるので、時代の流れとして今の時代にあってこない部分や、今の役員の思いと違う部分というのが出てきていると思う。(事務局)

- ・ おおべ未来塾について、明石高専のマレーシアの留学生2人が来て、前半はパワーポイントでマレーシアについて説明されて、後半はマレーシアの遊びをした。とても盛り上がり、良い会になった。(教育委員)

■ [スポーツ振興課関連]

①学校保健体育事業の推進

(進捗状況)

- ・ 第2回ひまわりカード調査(1月16日~20日) ※朝食摂取率:95.0%
- ・ 幼稚園については今までよりも一番良い数値が出ている。中学校はやはり

低く、毎年の課題となっている。子どもたちにより考えさせられる、食育に関する様々な事に繋がっていくような取り組みにしていきたい。

バランスの良い 朝食摂取率	R2		R3		R4	
	第1回	第2回	第1回	第2回	第1回	第2回
小学校	68.3%	68.6%	67.3%	69.5%	67.1%	68.6%
中学校	59.9%	62.7%	62.2%	62.5%	58.2%	62.9%
幼稚園	66.7%	73.6%	71.2%	73.1%	66.0%	80.4%
小中幼計	65.4%	66.8%	65.6%	67.2%	64.0%	66.9%
保育所・園	58.3%	60.5%	58.5%	51.0%	54.7%	56.3%
年間平均	65.1%		64.6%		63.8%	

<保護者のコメント>

- ・朝ごはんに並んだものを見て「緑がないよ」と自分で理解し、何を足したらいいのか考える日があり、すごいなと思いました。
- ・自分でみそ汁を作ったり、卵を焼いたり、食への意識が高まりました。
- ・これを機会に嫌いなものも克服できたようで、また1つ成長できました。

②第9回小野ハーフマラソン2022

(今後の予定)

- ・3月23日に第3回実行委員会を開催し、今年度大会の締めくくりを行い、来年度に繋いでいく。

③スポーツ振興課情報

1 学校保健体育

○新型コロナウイルス感染症、インフルエンザの流行に伴う臨時休業状況

1・2月の学級閉鎖・学校閉鎖数（2月17日現在）

学級閉鎖：1月 小学校6学級、中学校0学級

2月 小学校5学級、中学校4学級

学校閉鎖：特別支援学校（2月7日～10日 4日間）

2 今後の予定

○第11回小野アルプス縦走ハイキング

開催日時：令和5年3月18日（土） 9：30受付開始 10：00開会

コース：神戸電鉄・JR加古川線 粟生駅～白雲谷温泉ゆびか 約11km

参加定員：200名（先着順） ※定員到達のため、受付終了

■【説明事項に対する教育委員からの照会及び意見】

Q:インフルエンザが流行っているということだが、期末テストや受験と重なるようなことはあったのか。もし、期末テストの期間にインフルエンザになった場合は後日受けることになるのか。(教育委員)

A:旭丘中学校で学級閉鎖と期末テスト期間が重なることがあったが、学年ごとテスト期間を次の週にずらし、多くの子どもがテストを受けられるように配慮した。それから、入試については、推薦入試や私立の入試があったが、早めに手を打った学校も多く、幸い集団として受けられなかったということは聞いていない。また、小野中学校の体験入学の日に小野小学校の6年生で学級閉鎖があったが、そのクラスだけ後日体験入学を行えるように設定してもらうなど、そういった配慮も行っている。(事務局)

Q:旭丘中学校で学年ごと期末テストの日程を変更したとのことだが、これは特異な例ということか。一般的には、他のクラスは通常通り実施し、学級閉鎖になったクラスのみ後日実施するというのが通常だと考えるがそれで相違ないか。(教育長)

A:小学校の場合は基本的にそのように行うが、中学校の場合はやはり成績に関連するので、今回の旭丘中学校も対応に苦慮したようである。試験問題は基本的に統一ということもありデリケートな部分もあるので、そのような事も考慮した上で対応した。以前であればそこまで神経質になっていなかった部分もあると思うが、世の中の流れがそうせざるを得ない状況になってきているのではないかと考える。(事務局)

Q:今回はクラスごとでの問題だが、インフルエンザ等の疾患で試験が受けられないという子どもがいた場合は、その子どものみ追試を行うということで相違ないか。(教育長)

A:その場合はその子どもだけ追試になる。そこは信頼度の問題で行っているのだと思う。平常の状態も学校は見ているので、その両方を見ながら成績自体は慎重に判断していると考ええる。(事務局)

6 次回定例教育委員会予定

令和5年4月6日(木) 午後1時30分 4階会議室4-1

7 閉会あいさつ 教育長